

# 同志社大学

## 2013年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014年 4月 3日提出

所 属	職 名	氏 名
グローバル・コミュニケーション学部	助教	鈴木美紀子
研 究 題 目	学習者アップテーク及び気づきと英語学習の相関性の発展的研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>秋学期より産休に入ったため、春学期のみの研究期間となった。 その半期で、前年までに収集済みのアップテークデータを再び検証し、データ収集法に関する再検討をした。 有効なアップテークデータの数を増やすためには、被験者に発話をより促す方法が必要であることが分かったので、発話のためのプロンプトをもっと分かりやすいものにして、さらに発話に対しての誤り訂正の仕方もより工夫して、目線や語調をコントロールする必要があるのではないかという結論に至った。</p> <p>このような考えを裏付ける資料や文献を集めることが、2014年度の目標となった。</p>	